

インキ事業説明会

インキ事業説明会 開催日：2026年2月20日
インキ事業説明会資料 公開日：2026年2月19日

1

環境対応を原動力に
インキ事業は、更なる成長ステージへ

2

未来を見据えた一手を
国内外の成長市場へ、戦略的に投資

3

印刷インキで磨いた技術が、新しい価値を生み出す

本日のご説明内容

- グローバルで成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキの成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開



本日のご説明内容

- グローバルで成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキの成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開



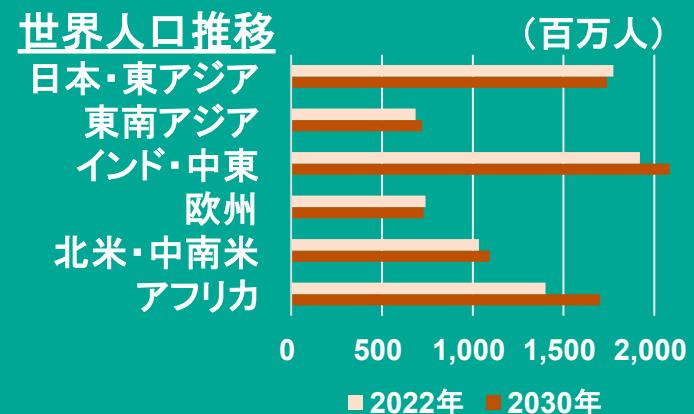
セグメント

	サブセグメント	主な製品	主な用途	
パッケージ	リキッドインキ	グラビアインキ、フレキソインキ	フィルム包材 (食品パッケージ、日用品詰め替え) 建材 サニタリー、段ボール、紙袋	
	グラビア機器・製版	グラビア機器、製版		
印刷・情報	オフセットインキ (一般インキ)	オフセットインキ、新聞インキ	書籍、新聞、チラシ、紙器	
	機能性インキ	UVインキ 金属インキ スクリーンインキ	紙器、ラベル、カード、書籍 飲料缶、食缶 エレクトロニクス、ステッカー	
	印刷材料・機器	オフセット印刷材料、印刷検査装置		

パッケージ用インキ



- パッケージ用インキ市場拡大
 - ・不景気でも需要低迷しにくく、安定
 - ・新興国を中心に、人口増加や経済成長に比例して市場が拡大
 - ・将来的に環境ニーズが高まる見通し
- 日本の革新技術はこれから世界へ！



想定平均GDP成長率

・中国	: <u>4.5%</u>	・日本	: 1.2%
・ASEAN	: <u>4.3%</u>		
・インド	: <u>6.8%</u>	・中東	: 3.8%
・欧州	: 2.5%	・欧州	: 2.5%
・北米	: 2.0%	・中南米	: 2.4%
・アフリカ	: <u>4.0%</u>		

出展 UN WPP 2024

パッケージ用インキ

【紙パッケージ用途】
UVインキ
+オフセットインキ

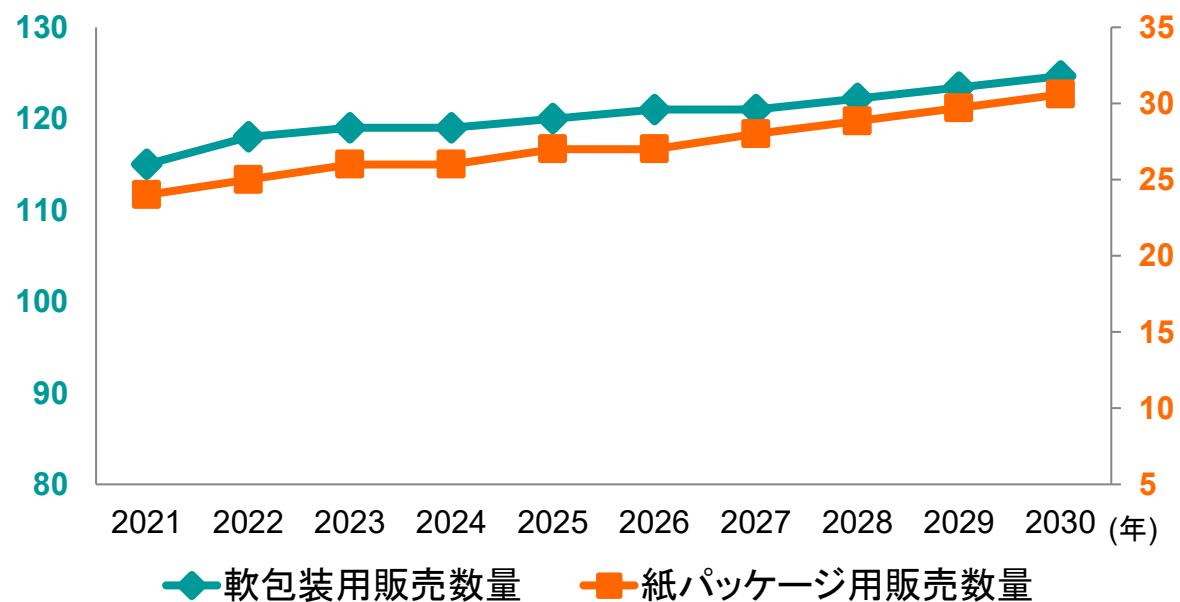


【軟包装用途】
リキッドインキ



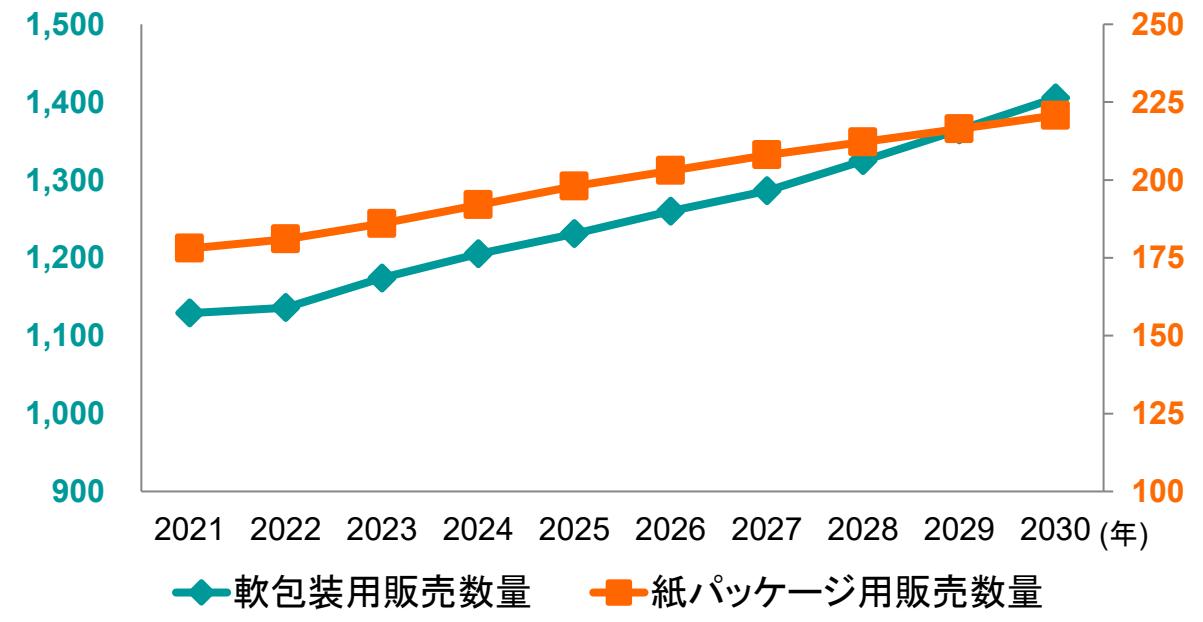
国内市場

(単位 : 千トン)



世界市場

(単位 : 千トン)



2021～2027年は富士経済「環境対応が進む印刷インキ関連市場の全貌2023」予測、以降は当社予測

artience

インキの素材コア技術

東洋インキ



分散技術、機能付加

トヨーケム



ポリマー樹脂
合成技術

トヨーカラー



顔料(色材)
合成技術

印刷関連材料と技術

東洋インキ

パッケージ用インキ

東洋FPP

製版

東洋モートン

ラミネート接着剤

本日のご説明内容

- 世界で成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキ成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開



国内グラビアインキ市場シェア



■環境対応製品の積極展開

業界のリーディングカンパニーとしてバイオマス
インキ、水性インキをいち早く市場に展開



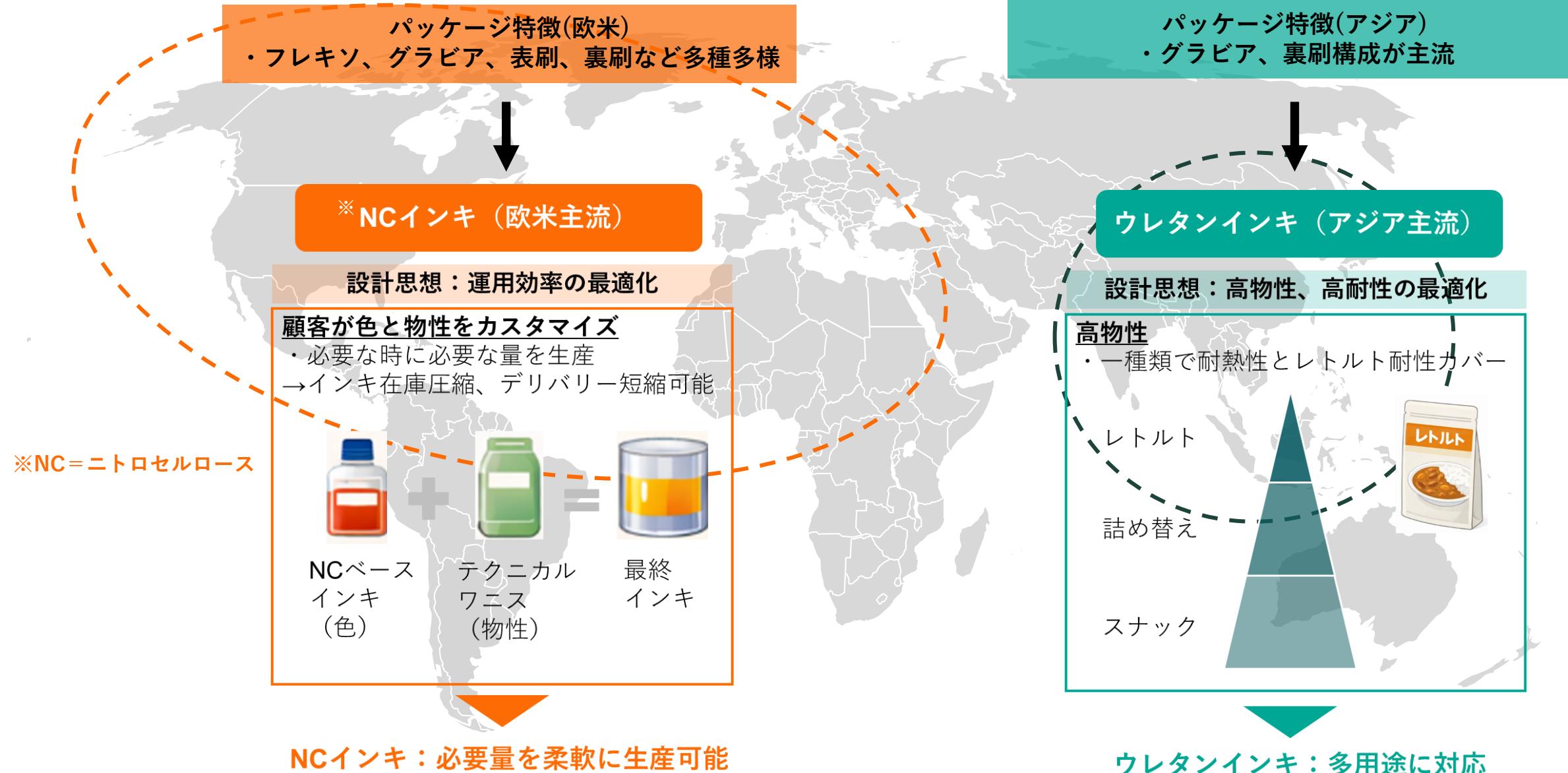
■ニーズに応える高い技術力

市場ニーズと使いやすさを両立した製品設計

グラビアインキ市場国内シェアNo.1 !
(ラミネート用インキ、パッケージ用接着剤シェアNo.1)

市場シェアは2025年 自社調査結果に基づくデータ

海外で使われるパッケージ用インキの違い



重点エリアへの積極投資



- 海外：成長市場であるインド、要所であるトルコ、中国に投資を行い、海外ビジネスを拡大！
- 国内：成熟市場であるが、スマートファクトリー化による働き方改革を促進！
⇒ パッケージセグメントはグローバルで2030年までに営業利益30%増加を目指す！

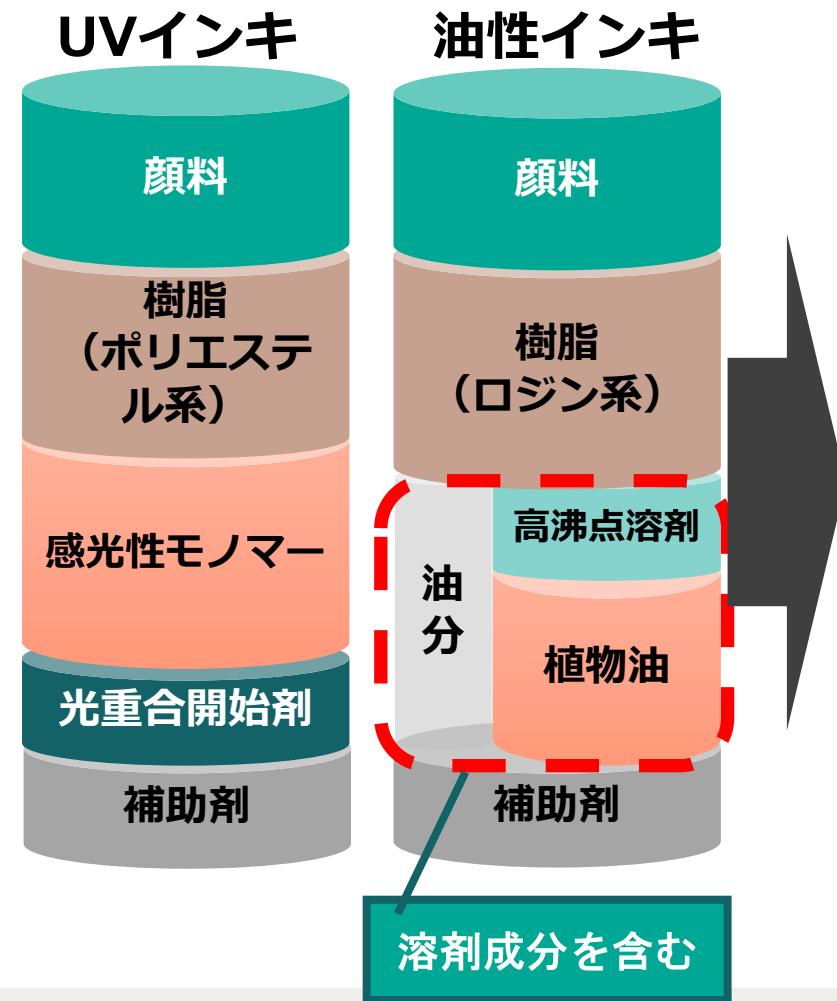
本日のご説明内容

- 世界で成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキの成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開



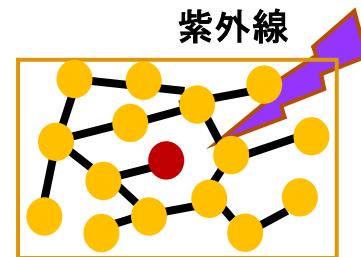
UVインキの特徴と用途

UVインキと油性インキの違い



UVインキのメリット

瞬間硬化

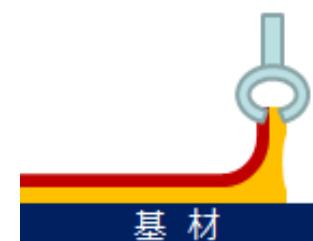


無溶剤



高い生産性
作業環境改善
環境負荷低減

耐久性



紙にもプラスチックにも印刷可能

UV印刷の台頭



UVインキの特徴と用途

UVインキのメリットを活かし、多種多用な用途で使用される

【紙パッケージ】



【カード】



【商業印刷・情報出版】



【ビジネスフォーム】



【クリアファイル, ケース】



【シール・ラベル】



【プラカップ】



【ボトルキャップ】



需要が安定、伸長しており、当社の注力分野。

【商業印刷、情報出版】

インキ使用量が最も多い。
油性からの置換えが進む。
⇒シェアNo.1の維持。

【紙パッケージ】

【カード】

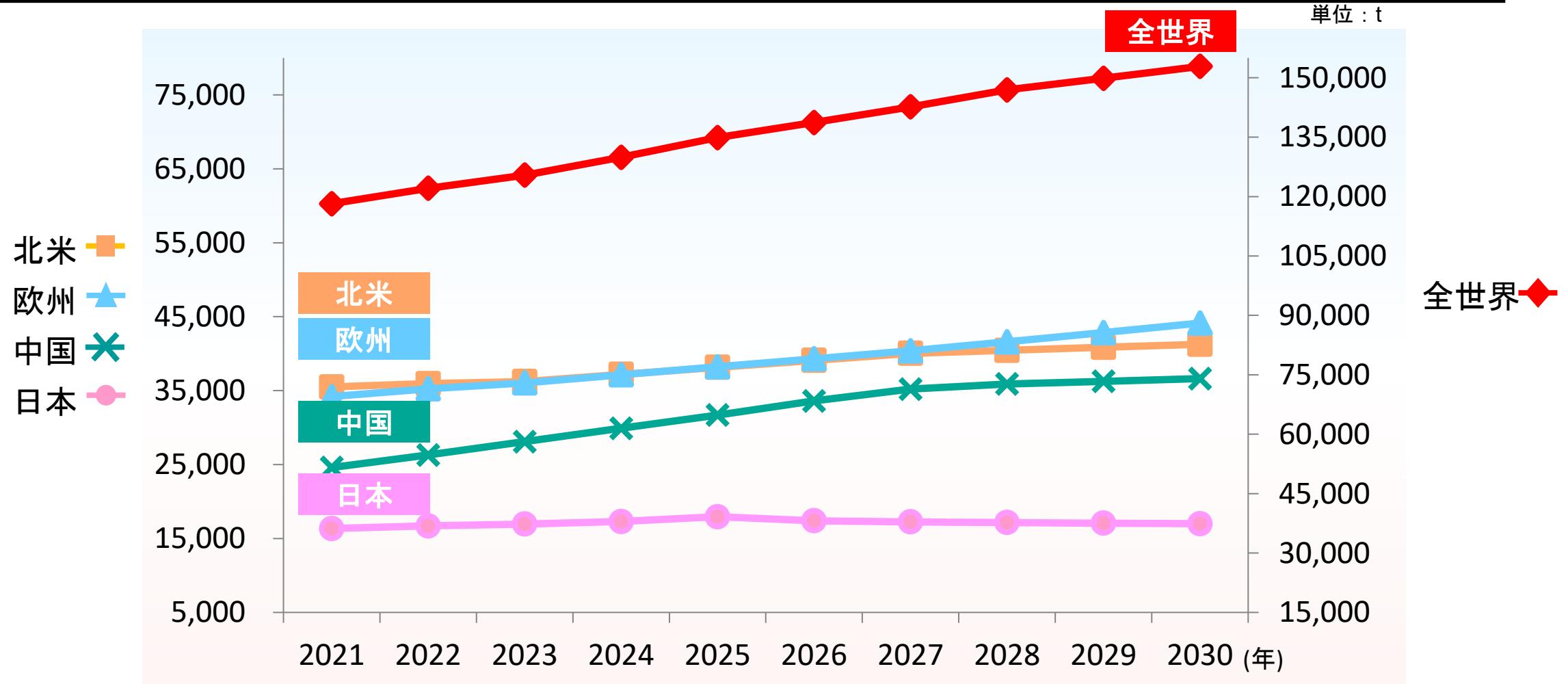
【シール・ラベル】

【プラカップ】

食品、医薬、カード用途が
主で需要安定。

⇒注力分野。更なるシェア拡大。

世界のUVインキ市場規模



2021～2027年は富士経済「環境対応が進む印刷インキ関連市場の全貌2023」予測、以降は当社予測

【国内】

2026年以降は商業印刷のUV化が一段落し全体として
微減と予想。但し、パッケージ、ラベルは堅調と見込まれる。

【海外】

成長率はCAGRで3%の予想で、市場は拡大が見込まれている。

UV印刷市場の取り組み

印刷会社の
取り組み

事業継続・受注競争力・リスク対応

環境配慮の見える化・付加価値・差別化

省エネ印刷設備の導入

LEDランプ、印刷機サイズダウン等の
エネルギー消費も抑制が可能な設備投資が活発

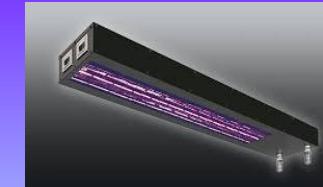
UV印刷



画像提供元：岩崎電気(株)様



LED-UV印刷



画像提供元：岩崎電気(株)様



環境配慮素材の採用

持続可能な森林管理から生産されたFSC認証紙
や、バイオマス素材を使用したバイオマスイン
キの採用が活発



石油資源



なくなる



植物原料

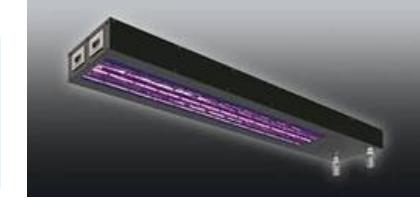


また育つ

印刷会社ニーズにマッチした次世代UVインキ ~LEDランプ対応バイオマスインキ~

LEDランプとの高い親和性

照射量の少ないLEDランプでも瞬時に硬化



画像提供元：岩崎電気(株)様

生物由来原料の使用

再生可能な生物由来原料を10%以上含有



印刷インキに使用される
バイオマス原料

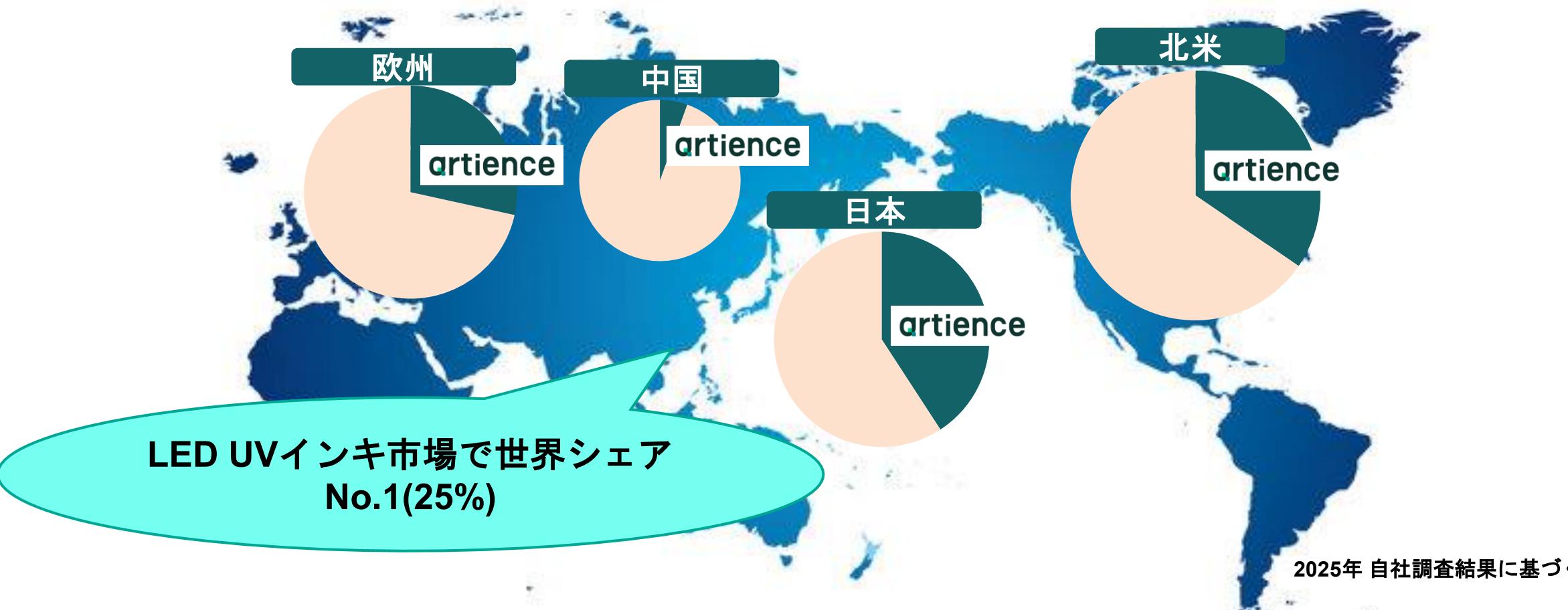
当社の強み

- 業界に先駆けてLEDインキを市場投入した技術開発力
- キーマテリアルとなる独自素材を自社生産し、
品質差別化（硬化性、印刷適性）による競争力を確保



artienceグループのLED UVインキシェア

海外主要エリアのLED UV印刷市場



2030年度までにグローバルでUVインキ品種の営業利益を60%増加を目指す！

本日のご説明内容

- 世界で成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキの成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開



未来のパッケージのトレンド

✓パッケージの未来：これから包装容器は資源に

従来構成（例）



表フィルム
(OPP,PET,NY)

インキ

一般
ラミネート接着剤
シーラントフィルム
(CPP,PE)

剥離・脱墨構成

表フィルム
(OPP,PET,NY)

脱墨用
コーティング剤
追加

インキ

剥離用
ラミネート接着剤
シーラントフィルム
(CPP,PE)



脱墨前フラフ

従来構成では、透明プラスチックリサイクルは困難。

より高品質なプラスチックリサイクル実現に向け、洗浄・脱墨・異素材分離・再生等のプロセス開発ならびに生産機の開発

■相川鉄工(株)様、萩原工業(株)様と
共同開発契約を締結



インキ



脱墨後フラフ

表フィルム (OPP)

シーラントフィルム
(CPP,PE)

インキ

除去

剥離脱墨リサイクルの具体的な取り組み事例

リサイクル性を向上させた詰替えパックの初の製品化



剥離・脱墨可能な包装・成形品を生産 → 使用

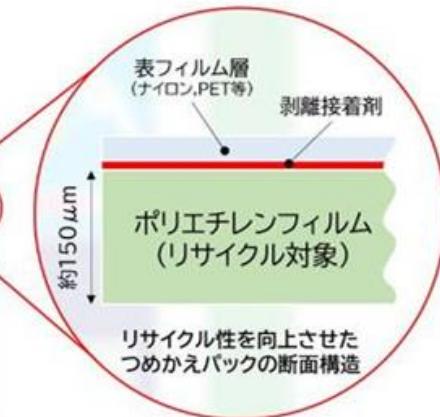


コンバーター

ブランドオーナー
リテイラー



本技術を採用したつめかえパックには
黄色い印が付いています



ライオン株式会社様 資料ご提供

アルカリ処理



フィルムが剥離した状態



リサイクラー



ユーザー



artienceが目指すリサイクル
= 高品質なリサイクル材



パイロットプラントでの実証試験

本日のご説明内容

- 世界で成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキの成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開



オプトエレクトロニクス市場への参入・実績化

スクリーンインキ、各種印刷技術

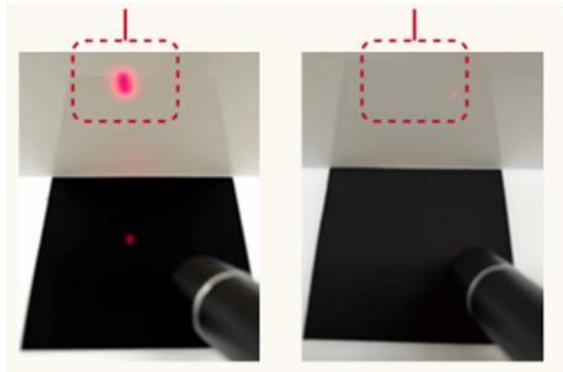
- ・スクリーン、パッド、ディスペンサー印刷等
- ・特殊加飾・意匠性付与技術

既存技術の応用展開

光学制御技術

- ・遮光、反射制御
- ・波長制御

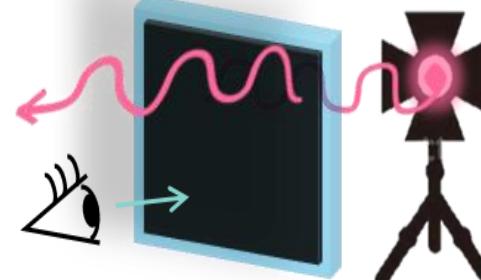
レーザーポインターからの反射
反射光あり 反射光無し



反射制御

工業材周辺の各種知見

- ・高耐久性 (建材、自動車)
- ・幅広い基材対応



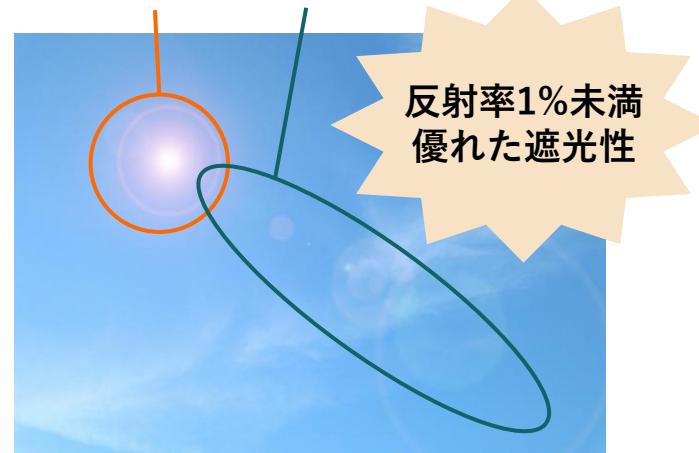
波長制御

低反射墨インキ



レンズのエッジ、レンズ鏡筒
プリムレンズの側面等に塗工

フレア・ゴーストの除去



赤外線カメラ・
センサの目隠し
意匠と機能の両立

赤外透過墨インキ



スマホ、スマートドアロック等の
顔認識システム



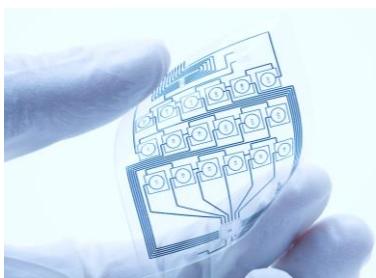
ドライバーモニタリング
システム(DMS)

2024年に実績化、2026年に倍増を目指す

プリンテッドエレクトロニクス技術による
センサデバイス

導電材料設計技術

- ・高濃度導電フィラー分散による低抵抗値化技術
- ・電気特性確保と印刷に必要な粘弾性付与の両立



培った技術を応用、センサビジネスに挑戦！

センサ電極回路形成技術

- ・ファインパターン印刷技術
- ・基材密着性／ラミネート知見



回路印刷



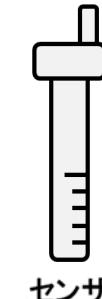
センサ電極



センサデバイス

加工度upによる付加価値向上

artience



市場ニーズに合わせた
センサデバイス設計



PC、タブレット
スマートフォン

温度、湿度、ひずみなど状態変化をセンシング

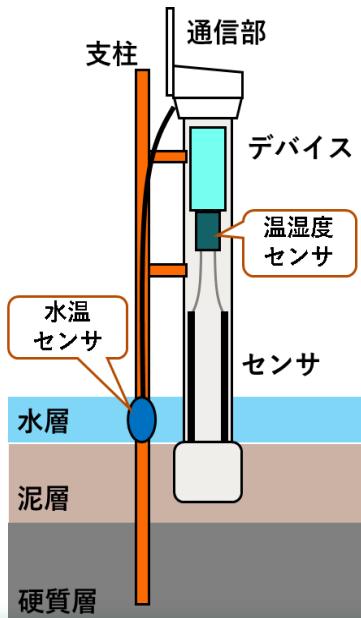
実証例 水田水位センサ

稲作の課題

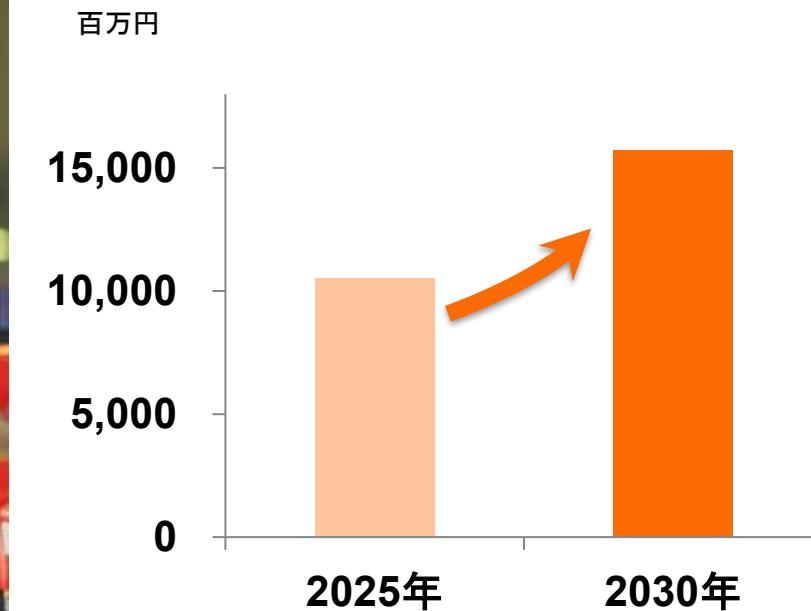
- ・生産者の減少(高齢化)
- ・管理面積の拡大
- ・育成時期毎の水位管理の煩雑さ
(害虫 ジャンボタニシなど)防除

1cm単位で管理可能な高精度センサを開発

- ・稻を害虫から予防予防
- ・収量の向上
- ・メタンガスの発生抑制
- ・Jクレジット活用による収益向上



2027年社会実装に向けて農家・農業法人との実証実験継続



リーディングカンパニーとして期待を超える価値を市場に提供
2030年までにインキ事業をグローバルで営業利益目標50%増加を目指す！